

特養だよい

新春号
令和8年1月



2026年 新年のあいさつ 施設長 原 健作

2026年の元旦を迎えました。良く晴れた暖かな新年です。

2025年度は、どんな年だったでしょうか？

当園にとっての大きな出来事は

- ①みんなの努力でコロナ・インフルなどの感染症クラスターを起こさなかったこと
- ②第三者評価のアンケート結果が3年連続で改善し、良くなってきたこと
- ③職員の腰痛が減少し、労災による休業が0日であったこと
- ④穏やかな看取りケアが続けられ、特に食後の口腔ケアがきちんと行われている事
- ⑤介護職不足の中、職員が入れ替わり業務に慣れ、江花介護職員、松井介護職員、吉田介護職員、木村介護職員、伊関介護職員が仲間となり、近藤作業療法士入職で訓練も始まっている。職員の安定は良いサービスの土台となっている事。

諸物価高騰の中、財政的には苦戦が続き、経営はギリギリですが、介護・看護の仕事が価値ある仕事として存在出来る様にしていきたいと考えています。今後、介護機器の導入も予定しており、毎年一步でも前進していけば、10年後大きな前進となっている事を期待します。

以下は年末年始の一コマです。



お獅子に噛まれて笑顔♪



今年もこのメンバーでお願い致します！

